

こみゆにてい 見聞録 その式

地域のいろいろな話題を紹介します。



いつまでも充実した人生を

8月23日(木)・24日(金)市老人福祉センターにおいて、「平成24年度市老人福祉センター教養講座発表会」が開催されました。会場では絵画や陶芸、生け花などの展示部門と、民謡や三線、ウクレレなどの舞台部門があり、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。受講生代表で挨拶した豊里芳子さんは「講座を通し、より豊かにより充実した生活になりました」と話しました。



我如古の伝統芸能を九州で

10月14日に大分県で開催される第54回九州地区民族芸能大会に出演し披露することが決まった「我如古スナーミー」。その派遣費を募るため結成された我如古スナーミー派遣実行委員会が8月13日(月)、市役所を訪れ、出場報告と募金協力願いをしました。なお、募金期間は9月30日まで受け付けております。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。詳しくは我如古自治会 Tel.898-6304まで。



4月28日我如古公民館にて

市制施行50周年を一緒に盛り上げましょう

8月13日(月)、はごろも緑花会(森根清昭会長)は市役所を訪れ、市制施行50周年記念事業実行委員会(佐喜眞淳実行委員長)へ寄付金15万円を贈呈しました。森根会長は「はごろも緑花会も宜野湾市へ貢献し、一緒に市制50周年を盛り上げていきたいです」と語りました。



自治会に加入しましょう!

自治会加入促進強化事業実行委員会



宮崎県日向市中学生 平和学習

宮崎県日向市の中学生7人が平和交流団として宜野湾市を訪れました。日向市は、太平洋戦争末期に宜野湾市国民学校の学童が疎開した事が縁で姉妹都市締結していた東郷町と合併した市です。佐喜眞市長を表敬訪問した後、佐喜眞美術館・市立博物館を見学。戦争の悲惨さや平和の尊さ、市が抱えている基地問題について学習しました。



沖縄総合事務局表彰に市内業者が受賞

7月24日(火)、沖縄総合事務局開発建設部の平成23年度優良業者等表彰式が那覇第2地方合同庁舎において開催され、市内業者の(株)日本電設(伊波良明社長)が、優良施工工事部門で局長表彰受賞し、さらに同社の比嘉誠さんが優秀工事技術者にそれぞれ選ばれました。伊波社長は「この受賞を励みとして、より一層の技術力の向上に努め、地域社会の発展に貢献するよう努力をしてまいります」と述べました。



「19区公民館」から「愛知区公民館」へ

8月4日(土)、今年4月1日に19区自治会から名称変更した愛知区自治会(上里広幸会長)において看板の除幕式が行われ、施設の看板が「愛知区学習等供用施設」「愛知区公民館」へとそれぞれ一新されました。除幕式では、佐喜眞市長が「長年の懸案事項であった名称問題に終止符が打たれ、本日の除幕式を迎えるに至ったことは誠に嬉しい限りです」とお祝いの言葉を述べ、上里会長は「今後、住居表示等の事業もあり、市と連携して取り組んでいきたい」と意欲を語りました。



第11期留学生 中国廈門へ出発!

9月から1年間、友好都市・中国廈門市の市立廈門理工学院へ派遣される比嘉美和さんが、出発前に佐喜眞市長を表敬訪問。中国語の習得と国際的視野を広げる事を目的に留学を決意した比嘉さんは、「廈門では漢詩を通じた中国と沖縄の交流についても学びたい」と意気込みを語りました。



中国・廈門市



女団協新役員が市長を表敬訪問

与那城米子新会長をはじめ宜野湾市女性団体連絡協議会の新役員の皆さんが佐喜眞市長を表敬訪問。6月の定期総会で決議された『女性の人材育成と積極的登用について』と『通称「真栄原新町」環境浄化の実現について』の要請文が市長へ手渡され、安心・安全なまちづくりへの推進について活発な意見交換の場となりました。



電気は正しく安全に!

今年も8月の電気使用安全月間に合わせて、8月1日(水)に広報パレードが行われ、浦添宜野湾電気工事業協同組合など関係団体の皆さんが電気使用の安全点検の大切さを呼びかけました。本月間は一般家庭を中心に電気使用の安全に関する啓発を行い、一般用電気工作物の保安確保と電気災害の防止を目的としています。



ただいま~! 私たちのルーツ沖縄

横浜に在住し、沖縄に親戚を持つ南米出身の日系人児童生徒が参加する「沖縄へルーツを探る旅」の皆さんが、8月2日(木)市役所を訪れました。参加した児童は、沖縄文化や移民の歴史について学び、親戚たちを訪問。「突然の訪問にも快く受け入れてくれて、沖縄の人のあたたかさや絆の深さを感じました」と話していました。

防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。☎ 896-2401